

町家歴史館山口家住宅で かたぎりせいりゅうどう **展示「片桐棲龍堂のくすり看板の世界」を開催します** **－ 昔の広告媒体「くすり看板」の知恵と魅力を紹介 －**

堺市では、町家歴史館山口家住宅（重要文化財）で堺を知る展示「片桐棲龍堂のくすり看板の世界」を開催します。山口家とゆかりのある老舗の漢方薬局片桐棲龍堂（堺市堺区西湊町 3-1-16）が所蔵する江戸～明治時代のくすり看板※や、片桐家の医薬に関する資料を展示します。

江戸時代の人々が病や薬とどのように向き合っていたのかを身近に感じられる、様々なくすり看板等をご覧ください。

※くすりを売る店が薬効等を宣伝するために店頭に掲げた看板。

1 期間

令和 8 年 9 月 2 日（水）～10 月 5 日（月）

※休館日は除く。

2 場所

町家歴史館山口家住宅（堺市堺区錦之町東 1-2-31）

3 展示内容

（1）概要

片桐棲龍堂は、堺区西湊町（旧湊村）で、江戸時代から現在まで続く漢方薬局です。現在も使われている主屋等の建物は国の登録有形文化財、庭園は堺市指定名勝になっています。また、戦前の片桐家当主は、山口家第 13 代当主で政治家であった山口義一の活動を支援する等、片桐家は山口家と深い関わりを持っていました。

片桐家では、医薬に関する江戸時代後期以降の資料に加え、医学書やくすり看板等、医療史にまつわる数多くの資料が収集されています。同展では、これらのコレクションのうち、江戸時代の広告媒体ともいえるくすり看板を中心に紹介します。看板に描かれた文字や意匠からは、薬の効能を伝えるための工夫や、江戸時代から明治時代の広告文化の一端をうかがうことができます。

（2）主な展示資料

- ・片桐棲龍堂が所蔵する、江戸～明治時代のくすり看板
- ・片桐棲龍堂の明治時代初めの調剤や売薬業に関する資料
- ・山口家住宅に伝わる免許売薬営業看板と経路図



ウルエス看板


 はらいのくすり ゆうたんもっこうがん 熊胆木香丸看板

にんじんえきげんたん 人參益元丹看板

4 町家歴史館山口家住宅 施設概要

開館時間	午前 10 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
休館日	火曜日（祝・休日の場合は翌平日）
入館料	200 円（20 人以上の団体は 160 円） ※中学生以下、堺市内に住所を有する 65 歳以上の方、障害のある方とその介護者は無料です。 （障害者手帳等の証明書の提示が必要）
アクセス	阪堺線「綾ノ町」停留場より南東へ 200m 南海バス「綾の町電停前」停留所より南東へ 300m

 問
い
合
わ
せ
先

 担 当 課：文化観光局 歴史遺産活用部 文化財課
 電 話：072-228-7198
 ファックス：072-228-7228